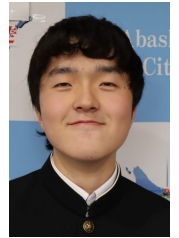


糸満市での体験を通しての私の感想

網走市立第四中学校 三年
林田 拓真(はやしだ たくま)



私は糸満市に行くまでは糸満市や沖縄戦の事について教科書で見たことがあるだけで全く知りませんでした。ですが、糸満市に行ったことで魅力を知り平和について深く考えられるようになりました。

まず糸満市でした事と感想についてです。一日目は厚木市の人と合流して糸満市のガリガリーおおしろに行きました。私はガリガリーおおしろ体験というのが何かしらなかったのでサーターアンダギーを作ったので少し驚きました。そこでサーターアンダギーの作り方を教えてもらったので家でも作れる材料なので今度自分でも作ってみようかなと思いました。ホテルはすごく広くて眺めも良かったので最高でした。でも、プールに入れないのは少し、残念でした。大浴場も広く、サウナと外風呂もついてて良かったです。厚木市の人たちとは最初は余り喋られなかったのですが、一日を通して喋られるようになりました。

2日目は平和記念資料館にまず行ったのですがそこでは久保田さんが沖縄戦のことを語ってくれました。私は戦争の中、食料がなく人の死体や排泄物が浮いている水を飲んでいたと知り衝撃を受けました。そして、私はその話を聞き戦争の怖さを改めて知ることができました。その話をきいた後は昼食を食べ、ひめゆりの塔に行きましたがそこには人々の墓があつてあまりにも多くの人が死んだのだと実際に見て実感しました。その後、糸満市長表敬と糸満市役所ワークショップをしました。そこで糸満市長への質問を行ったのですが、そこでは糸満市で取り組んでいることや、糸満市の歴史的な場所について話してくれました。ワークショップでは、自分たちの平和都市宣言を作りました。結構まとめるのが難しく大変でしたが最終的にはとてもいいものができました。

3日目はサバニ体験をしました。サバニ体験は結構難しいかなと思ったのですが、やってみると意外と簡単で皆で息を合わせて漕ぐとぐんぐん進んでいって楽しかったです。サバニ体験の後はバナナボートをしてすごい速さだったので水しぶきが口や鼻に入ってしまったのでしょっぱかったです。北海道の海はそんなに泳いだことがなかったのでそれも貴重な経験となりました。なにより沖縄の海は透き通るくらい綺麗でした。昼食のA&Wではルートビアを人生で初めて飲みましたが癖はありましたが結構飲みやすかったです。その後、糸満市の人達と別れましたが糸満市の人たちとの交流はなかなかできない体験で会えて良かったなと思います。ガラス村では僕はコップを作りましたが凄く難しくちょつといびつな形になってしまいましたが無事に完成することができました。夕食は焼肉を食べておいしかったし楽しかったです。

4日目はウミカジテラスに行って景色を眺めました。飛行機やヘリコプターなんかが外をたくさん飛んでいて青い海とすごいマッチしててきれいでした。最後に那覇空港に行っておみやげを買ったりしました。その後厚木市の人たちと別れました。この四日間で仲が深まっていたこともあり少し寂しい気持ちもありましたが私はこの糸満市での経験を生かしてこれからの学校生活をよりよいものにしていけたらなと思いました。

私はこの糸満市に行く事業で自分が知らなかった戦争の背景そして平和をつくっていくためには何が必要なのか改めて考える事ができました。そして今生きているこの時間この一瞬がどれだけ大切で今こうして普通にご飯を食われているこのあたりまえがまさに感謝すべきことであるのだと思いました。なのでこれから生きていく中でこの事を胸に入れてこれから過ごしていこうと思いました。とてもいい経験でした、ありがとうございました。